

平成24年度事業報告

1. 概要（理事長：飯島直樹）

JCD は 2012 年度末をもって、社団法人「日本商環境設計家協会」の 52 年の歴史を終了した。半世紀の歴史であり、その間の日本と世界の大きな変化に向き合いながら、空間のデザインを通じて、JCD は数多くの公的な役割を担い続けてきた。半世紀にわたり我が協会がその使命を持続できたことは、会員の皆様のご協力によるものであり、改めて感謝申し上げたい。一般社団法人組織を選択した後、関係所管庁との新法人移行への手続きはスムーズに進行した。

主要な事業は例年と同じく実行された。（JCD デザインアワード、シンポジウム SECTION、SODA、そして年末には第 2 期 EG（East Gathering/東京・香港・ソウルの国際交流）が成功裏に実行された。

また、関連 4 団体（JCD /DSA/SDA/NDF）が連携して運営する「空間賞」は、2012 年末、第 5 回の贈賞としてファッションデザイナーの川久保玲氏の「空間デザインの所作」を選定した。

2. 各事業の報告

（1）デザイン賞委員会（委員長：岩佐達雄）

（JCD デザインアワード事業）

JCD デザインアワード 2012 は、例年通り 6 月に公開審査を実行した。応募者数は 377 点、内海外からは 36 作品が寄せられ、その中から 1 次審査 BEST100 の作品 123 点（同票数のため）を 5 月に 1 次審査員 12 名にて選出、6 月 23 日に東京デザインセンターにて公開審査会を実施した。作品が完成したのは昨年の東日本大震災の年であり、応募数が落ち込んだのは確かであり、今の状況を表わしているともいえるが、それに比べ海外からの応募がほぼ倍増し、しかも中国の勢いが顕著であった。審査員は飯島直樹、小坂竜、橋本夕紀夫の JCD 会員、外部審査員は浅子佳英、五十嵐太郎、中村拓志、平林奈緒美の各氏にお願いした。

BEST100 から銀賞以上 27 作品を選定、その中から金賞以上 6 作品を選び、さらにその中から大賞 1 点を決定、新人賞 3 点、審査員特別賞 3 点が確定した。したがって銀賞は 15 点となった。今年の作品を見渡すとき、今の状況が良く理解される。海外の派手な形のアピールは別として、デザインが形のメッセージという内容より、多くの場合何かしらコミュニケーションとして即ち人と人をつなぐ、街とつなぐそんなメッセージを感じた。そういう意味で商品のないショップだったり、人のいない飲食店などのプレゼンテーションでは審査員に響かなかったことも確かであった。デザインが思想であり、それを達成するためのさまざまな試行が感じられたアワードであった。グランプリを選ぶ段階で様々な議論ができたことは大変良かったと思う。

贈賞式は 2012 年 12 月 4 日、六本木の東京ミッドタウン産デ振のリエゾンセンターにて開催した。パーティーは空間デザイン賞・年鑑刊行パーティー併催（出席約 200 名）六本木アクシスにて滞りなく挙行された。今回は株式会社遠藤照明より副賞の提供をいただいた。

また例年通りアップルストア銀座において JCD デザインメッセージ 2012 を開催した。大賞受賞者である宇賀亮介氏の作品解説、飯島理事長とのパネルディスカッションを行い、約 100 名が参加した。

（2）コミュニケーション委員会（委員長：品川正之）

1. 連続デザインシンポジウム事業

1 月 22 日、東京・本郷の東大弥生講堂一条ホールにて、JCD 連続シンポジウム「SECTION53」を開催しました。基調講演を、東急電鉄・西澤信二氏にお願いしました。西澤氏は、渋谷セルリアンタワーをはじめ、羽田エクセルホテル東急、ザ・キャピトルホテル

東急などホテルや商業施設を多く手掛け、直近では渋谷ヒカリエのプロデュースを担当されています。今後大きく変わる渋谷について、街開発の第一線で活躍される西澤氏が今どのようなお考えをお持ちなのか伺いたく、このシンポジウムを企画しました。後半のパネルディスカッションでは、建築家の窪田茂さんにも登壇いただき、馴れ親しんだ渋谷への期待や想い、また商空間が街や都市に対してどう機能すべきかについて西澤さんと語り合っていました。

学生の集客を期待しての日程、会場設定としましたが学生の参加は例年並みであったようです。ただ全体では150名を超えるお客様にご来場いただき盛会のうちに終えることができました。引き続き直接、間接的に街や商業に関わる方々とJCDメンバーが交流できる場を創造していきたいと思えます。

賛助企業7社（大光電機株式会社、株式会社寺岡精工、株式会社遠藤照明、株式会社岡村製作所、三協立山株式会社、三協アルミ社、TOTO株式会社、パナソニック株式会社）の協賛金合計38万円の予算でしたが、会場選定等経費縮小に努め予算内での事業遂行が可能となりました。なお大阪開催は見送りとしました。

2. 機関紙 SHOKANKYO

SHOKANKYO080を発行しました。内容はKeiko+Manabuインタビュー、JCDデザインアワード2012、JCD Product of the year 2012、JCD Design Symposium、2012SODA等。内容刷新までは行きませんが、表紙のデザインをリニューアルしました。

(3) 国際委員会（委員長：武石正宣）

今期も国際委員会ではEast Gathering2012 in Hong Kongの参加、活動をいたしました。4回目のEGとなった今期は、香港での開催となりJCD発案による国際開催の活動も順調にかつ有意義な活動となりました。

(East Gathering in Hong Kong)

■開催内容

2012年EGイベントのテーマ「温故知新」

[Find the new in the old] ”古きを温ねて新しきを知る”という共通のテーマを掲げます。アジアのデザインを見直すうえで、古いモノや古くからの独自の歴史・文化に可視を見出し、新しい価値を再考し創造することを目的とします。

【期日】2012年11月22日（木）～25日（日）

◇22日（木）午前：香港に到着

午後：学生参加による「デザインキャンプ」ワークショップ開催

【ご参加：小泉誠氏】

テーマ「温故知新」（香港ローカルリサーチ作業）

■場所④：ユーススクエア

夕方：APIDAガラディナー

■場所①：香港コンベンション&エキシビジョンセンター（香港島・灣仔）

◇23日（金）午前：学生参加による「デザインキャンプ」ワークショップ作業続行

【ご参加：小泉誠氏】

■場所④：ユーススクエア

午後：KOSID, JCD, HKIDAによるEG展示会

テーマ「温故知新」各代表者が会場にてスピーチ

【ご出演：飯島直樹氏】

■場所②：香港理工大学（香港・紅磡）

◇24日（土）全日：EGセミナーイベント

KOSID, JCD, HKIDAから各国2名のスピーカー参加

【ご出演：文田昭仁氏、谷尻誠氏】

■場所③：ホテルアイコン

午後：「デザインキャンプ」成果発表会 各国のスピーカーが講評

■場所③：ホテルアイコン

◇25日（日）午後：日本へ帰国

ゲストスピーカー 2名：文田昭仁氏、谷尻誠氏

学生ワークショップインストラクター 1名：小泉誠氏

【内容】

● APIDA (Asia Pacific Interior Design Award) / 場所①：香港コンベンションセンター

◇2012 アワード・プレゼンテーション&授賞式

◇APIDA 主催によるガラディナー（各国参加者全員による懇親会）

●EG (East Gathering)

◇デザイン展示/場所②：香港理工大学

香港 (HKIDA)、韓国 (KOSID)、日本 (JCD) の各デザイン団体による展示

◇基調講演/場所③：ホテルアイコン

各国から選出されたインテリアデザイナー計6名のデザイナーによる基調講演

◇学生ワークショップ/場所④：ユーススクエア

デザインを学ぶ学生1チーム10名（各国約3名×3カ国）、合計6チームが香港郊外のキャンプサイトで2泊滞在して与えられたテーマを基に作品制作を行う

(4) 財務委員会（委員長：太細 通）

本年度は、新任の菊池顧問公認会計士により財務諸表を作成して頂き、その上で監事2名による監査報告としました。24年度決算については、第2号議案にて詳細を報告いたしますが、今年度の会費収入は、正会員数、賛助会員数ともに昨年度ほぼ同等ですが年度末に支払遅延があり、予算額より約135万円とどきませんでした。事業収入は、研修会、展示会、研究会などの収入が伸びず、予算額より約490万円とどきませんでした。結果、事業活動収入合計としては、予算額より約640万円の減となり、約3645万円となりました。

一方、支出も、展示会、研究会などの支出が抑えられ、また、理事会開催数を減らすなどにより旅費交通費、通信費の支出も抑えられたことにより、支出合計としては予算額より、約620万円の支出減となりました。よって、24年度の収支は、目標であった黒字決算（約142万円黒字）となりました。

24年度は、一般社団法人への移行申請の年度であり、赤字決算では審査に支障となるため、黒字決算が必至でありましたが、各支部の多大なるご協力のおかげでもって黒字決算が達成できました。また、ここ数年間続いていた本部の収支も支部還付金の見直し等により、若干の黒字となり、各支部長さまには、大変感謝致します。誠に有難うございました。

(5) 業務委員会（委員長：星 明臣）

1：Soda委員会（委員長：新藤 力）

（Soda事業）

これまで本部事業として全国の小学校で実績を積んでまいりました出前授業形式のプログラムは、機材やノウハウ提供のためのマニュアルも整い、各支部での展開が可能になってまいりました。沖縄支部では全島の小学校での開催を支部目標とし、昨年度は6月に今帰仁村立兼次(かねし)小学校でワークショップ(6年生26名対象)を実施いたしました。関東地区でも関東支部の協力で、11月に中央区立佃島小学校(6年生83名対象)、1月に中野区立平和の森小学校(4年生83名)、2月に杉並区立浜田山小学校(6年生121名対象)で実施することができました。関西支部ではワークショップ機材を利用して大阪市立住まい情報センターとのタイアップ事業「冬休み!親子de体験セミナー/子どもたちと創る“あかりのある空間”」を開催。親子59名が参加して29店舗のモケイが完成しました。また、北海道支部、九州支部では独自に活動を継続されています。

出前授業形式のワークショップの他にも“チルドレンフェスティバル 2012”において、「街に私たちのあかり・シンボルをつくろう」と題し中学生を対象としたワークショップを開催しました。ペットボトルを基材に 1 燭光（しょっこう/蝋燭 1 本の光量）の“あかり”をつくり現代の品川の街に設置するというプログラムで、得意の切絵を施したもの、幼い頃の思い出のフィルムを灯したものなど、どれも個性的な“あかり”ができあがりしました。また、明治神宮で開催された「光の箱」ワークショップで制作指導のお手伝いをいたしました。カラーセロファンを通して色のついた光をフィルムミラーに乱反射させトレーシングペーパーに投影をするというもの。シンプルな構造で誰でも簡単に制作ができ、しかも個性的で美しい光の効果を体験できます。私たちがお手伝いしたワークショップでは小学校低学年の子からご年配の方まで 251 個の作品が完成し、明治天皇百年祭記念行事「夜間特別参拝ライトアップ」で御本殿の御神木の前に奉納展示されました。

昨年度はこれまでの活動の広報として積極的にアワードへの応募をし、その結果「第 6 回 KIDS DESIGN AWARD/子どもの未来デザイン・クリエイティブ部門」で賞をいただくことができました。また、この 4 月、こども環境学会の“2013 東京大会”において Soda 活動について発表の機会をいただきました。

2：賛助委員会（委員長：久米任弘）

当委員会は、正会員と賛助会員の相互のコミュニケーションを活性化させ、JCD の社会的地位の向上を図るために、平成 15 年度に設置された委員会です。賛助会員 3 名、正会員 4 名、で委員会を構成、10 年目の平成 24 年度は前年に引き続き「発展期」と位置づけ、以下の項目を企画・推進してまいりました。

① 賛助会員の本部・各支部連絡者名簿の更新

本部、各支部からの各種連絡事項の賛助会員の窓口となる連絡者の名簿を随時更新し、最新版を本部、各支部へ配布、活用いただきました。今回も更に賛助会員各社の名簿の電子化を本部事務局にてできるだけ図ってまいりましたので、今後毎年の更新見直しがいやしくなりました。

② JCD Product of the year 2013 の実施

関西支部から提案のありました、「賛助会員会社がその年の新商品を応募、正会員が投票し競う」イベントです。今年は 7 年目ということで、まずは継続実施する事を第一にしました。昨年同様、第一回目の課題対応の為に電子投票方式からファイルの配布形式にしました。

今年度は、賛助会員から 27 点の応募があり、正会員の 176 名から投票があり一応成功裏には終わりましたが、昨年に引き続き正会員の投票率低下が課題として残りました。特に本年度は昨年提起のあった支部賛助会社の参加も実現し、関係者の協力もあり新商品応募点数は一昨年に比べ 7 点の増加と効果が上げられましたので、今後も賛助会社のモチベーションアップのためにも正会員の投票率アップは欠かせない事と考えます。賛助会員企業では、正会員への新商品の認知を期待していますので、その証として来年度は更なる多数の投票をよろしく願います。

賛助会員におかれましては、新商品の正会員への認知に役立ちますし、ファイル形式にしたことで、次回まで 1 年間正会員の手元においていただけますので奮って応募のほどよろしく願います。

尚、全国の正会員を対象とした施策ですので規定上全国賛助会員だけが応募できます。活動の幅を広げるためにも支部賛助会員から全国賛助会員への変更をお勧めしますがプロダクトアワードに限りましては、さらなる発展・認知の向上のためにも引き続き支部賛助会員へ参加の幅を広げると共に新たなる施策も今後検討します。

また、ここ 7 年に亘る一連の作業で正会員および賛助会員の方の E メールアドレスが把握でき、今後のインターネットを活用した情報連絡網構築の礎になりました。一部正会員の方でまだ E メールアドレスを本部事務局にご連絡されていない方は、引き続き

スピードアップ、コスト削減のために随時、事務局へご連絡いただきますようよろしくお願い申し上げます。

③ 賛助会員の拡大

引き続き JCD の発展への協力のため賛助会社の加入拡大のため、PR 活動を進めますが、過去より、日頃正会員皆様のお仕事上での繋がりのお声かけの協力が非常に大きいため引き続きの勧誘をお願いします。現在、今年度末で全国賛助 57 社、支部賛助 67 社となっております。

3：功労者選考委員会（委員長：芝田良治）

第 25 期当該委員会は、一般社団法人日本商環境デザイン協会、特別功労賞表彰規定に則り、全国各支部より候補者推薦を頂き、平成 24 年度 JCD 特別功労賞表彰：候補者選考・推挙作業を行った。同時に、名誉会員・評議員・顧問・参与各職位候補者に関して、功労賞同様、全国各支部よりご推薦・ご協力を得て、候補者選考・推挙作業を行った。以下に、活動経過・理事会答申として報告する。

記

■委員構成（アイウエオ順）

（就任・構成条件：副理事長 1 名以上、専務理事を含む役員により、委員会を構成/表彰規定より）

石田和代 評議員/関東、 *小谷実 評議員/関東、 白井進 支部長会議議長/関西、
大道寺祥司 副理事長/関東、 太細通 専務理事/関東、 星明臣 業務委員長/関東、
山田悦央 評議員/関西 期初計 7 名・期末計 6 名（故小谷委員、2013.01.12 逝去）

■活動経過報告

- ・平成 24 年 10 月
当該委員宛、委嘱状発令。
- ・平成 24 年 10 月～12 月
委員会スケジュール策定・確認
- ・平成 24 年 12 月 01 日
第 1 回委員会開催 延期（委員長入院の為）
- ・平成 24 年 12 月 25 日
全国支部長宛、候補者推薦願一式、電子メール発信
（功労賞・名誉会員他/推薦文書雛形、功労賞・名誉会員他/歴代受賞・就任者一覧表）
- ・平成 25 年 1 月 15 日
第 1 回委員会開催 各支部長宛依頼内容再確認・賀詞交歓会席上候補者推薦依頼
- ・平成 25 年 2 月 28 日（公募期間）締め切り。
全国各支部選出候補者/推薦状、受信・委員宛回付。
- ・平成 25 年 3 月 01 日～3 月 11 日間、個別調整・電子委員会。
各支部、個別連絡・確認・相談/支部選出候補者。（有無、含）
当該委員間、候補者意見・情報交換。（電話・FAX・メール）
- ・平成 25 年 3 月 12 日（火）委員会開催/東京（出席者：6 名）
JCD 特別功労賞・支部功労賞/候補者：選考・推挙。
名誉会員・評議員/候補者：選考・推挙
顧問・参与/新規・継続候補者：選考・推挙
- ・平成 25 年 3 月 27 日（水）総会議案決議行使書/名誉会員分原稿 事務局納品
名誉会員候補者（杉本・石田・小谷各氏）推挙理由文章原稿作成
- ・平成 25 年 4 月 12 日（金）5/25 理事会・総会用 資料・原稿準備
2013 年度候補者推挙/上申書/理事会・総会原稿 策定・納品（予定）
候補者選考：理事会決議省略議案として、全理事宛配信/事務局
- ・平成 25 年 5 月 25 日（土）

功労賞他、候補者推挙結果報告/理事会（予定）
同上受賞者報告・名誉会員候補者推挙・審議/総会（予定）

■平成 25（2013）年度、委員会答申

選考基準変更：全国各支部・委員会より推薦された候補者に対して、特別功労賞表彰規程に定める資格要件検討の後、人望・実績等推薦書面上からは判断し難い項目に関して意見聞き取り・交換の後、出席委員の過半数以上の賛成を得た候補者に関して、当該委員会推挙・答申対象とした。（従来からの慣習であった委員全員一致による推挙方式を、今期より改めた。）

表彰：推挙候補者一覧/功労賞（所属支部・アイウエオ順）

種別 氏名 役職/会員種別/所属支部
略歴他

JCD 特別功労賞 金沢 明彦（かなざわ あきひこ） 前副支部長/正会員/関西支部
1985 年 10 月入会。会員歴 26 年。1986 年、関西支部へ転籍。2004 年～2011 年 4 期 8 年連続副支部長。

役員履歴：（2002～2011）5 期連続理事。

JCD 特別功労賞 井上 秀美（いのうえ ひでみ） 現評議員・元支部長/正会員/四国支部

1970 年 1 月入会。会員歴 43 年。同氏支部長時代は支部の枠を超え、近隣支部へ多大なる刺激を発信し、本協会西日本地区全体の活性化・認知度向上に寄与した。

役員履歴：（1996～2003）4 期連続理事・支部長職。2004 年～評議員職。

以上 2 名

表彰：推挙候補者一覧/支部功労賞（所属支部・アイウエオ・会員種別順）

種別 氏名 役職/会員種別/所属支部
略歴他

支部功労賞 佐藤 利明（さとう としあき） 現事務局長/正会員/北海道支部
（北海道） 1998 年 12 月入会。会員歴 15 年。同支部他団体との連携窓口担当。

支部功労賞 小田切 純子（おだぎり じゅんこ） 現 Soda 副委員長/正会員/関東支部
（関東） 2002 年 4 月入会。会員歴 11 年。元広報委員長等役職歴任。VMD 協会幹部。

支部功労賞 玉井 美歌男（たまい みかお） 元交流委副委員長/正会員/関東支部
（関東） 1989 年 12 月入会。会員歴 24 年。総会・支部イベント司会等で活躍。

支部功労賞 三好 輝昌（みよし てるまさ） 現関東賛助委副委員長/支部賛助会員/
関東支部

（関東） 関東支部賛助会員創立メンバー。同委員会のリーダーとして永年活躍。支部賛助会員参入機会創出等、支部運営に貢献大。2013 年春、プラン・ドゥ・モトハシ社定年退職。

支部功労賞 故三嶽 穂積（みたけ ほずみ） 現理事・副支部長/正会員/関西支部
（関西） 2001 年 9 月入会。会員歴、12 年。支部機関紙編集長として活躍。支部ホームページ立ち上げ担当。役員履歴：（2012～）理事職。2012 年 8 月 27 日、逝去。

支部功労賞 東原 淳夫（ひがしはら あつお） 現評議員、元理事・支部長/正会員/
四国支部

(四国) 1978年10月入会。会員歴、35年。副支部長として永年貢献。支部長時に四国デザイン会議企画推進他実績多数。役員履歴(2014～2005)理事・支部長職。

以上6名

表彰：推挙候補者一覧/名誉会員候補者(アイウエオ順)

種別 氏名 役職/会員種別/所属支部

略歴他

名誉会員 候補 石田 和代 (いしだ かずよ) 元専務理事・支部長・監事/正会員/関東支部

1983年9月入会。会員歴、30年。理事・関東支部長・専務理事・監事職歴任。協会運営に貢献。専務理事時代に40周年記念事業の一環として、企画設計業務報酬指針改訂新版、推進。

役員履歴：(1990～2001)理事職、(1996～1997)支部長職、(1998～2001)専務理事職、(2004～2009)監事職。通算9期18年。(2010～)評議員

名誉会員 候補 故 小谷 実 (こたにみのる) 元監事/正会員/関東支部

1970年入会。会員歴43年。7期14年監事に就任、本協会の円滑運営に寄与した。本部・支部各活動に積極的に参加し、若手会員と古参会員との架け橋的存在として脇役に徹し、本協会財政逼迫時の本部・支部運営に尽力し、新規会員の加入促進に貢献した。2004年、功労賞受賞。

役員履歴：(1990～2003)監事職、通算14年。(2004～)評議員職、(2006～)本部委員職、2013.1.12-。在任中、逝去

名誉会員 候補 杉本 貴志 (すぎもとたかし) 前述、省略

1992年入会。会員歴21年。旧広報委員長、デザイン賞審査委員長等、本部役職多数歴任。84・85 毎日デザイン賞受賞。武蔵野美術大学名誉教授。

役員履歴：(1994～2012)10期19年連続。副理事長、3期6年。2012年度末、退会。

以上3名

就任：推挙候補者一覧(所属支部・アイウエオ順)

種別 氏名 役職/会員種別/所属支部・略歴他

評議員 新任 金沢 明彦 (かなざわ あきひこ) 前述、省略

以上、1名。

評議員 継続 中山 久明/北海道 間宮 明雄/北海道 奥平 与人/関東

同上 山本 忠夫 /関東 遠藤 博/中部 西川せいじ/中部

同上 要 信行/関西 山田 悦央/関西 重本 孝/中国

同上 沖本 弘至/中国 赤木 治仁/中国 西原 勝/中国

同上 井上 秀美/四国 東原 淳夫/四国 寒川 徹司/四国

在籍者、15名。

評議員 退任 石田 和代/関東 故小谷 実/関東 武石 馨/関東/退会

以上3名。

顧問 新任 該当者不在

顧問 継続 2011年度：林 英光、堀越 哲美

在籍者、2名。

参与 新任 該当者不在

参与 継続 2011年度：永見 真一

在籍者、1名。

(6) 支部長会議（議長：加藤博正）

支部長会議は、会員が減りつつ現状をみるに、会員増強の一環として各支部における会員サービスの実体を各支部長から報告してもらおう。会員サービスの実体を調べつつ各支部により良い会員サービスとは何かを調査し実行して行く事を促す。その事を理事会にて報告する。

(7) 支部事業

北海道支部（支部長：長谷川演）

平成 24 年度の事業方針 「enjoy」

JCD という横のつながりを活かし、その活動を通して楽しめる事業を行う。

委員長会議

【概要】 正会員同士の交流と北海道支部の活動について議論を行う。

【日程】 毎月 第一水曜日

北海道支部総会

【概要】 平成 23 年度活動及び収支報告、平成 24 年度活動計画、予算（案）承認など

【日程】 4 月 18 日北海道支部 HP 開設

第 14 回 JCD 北海道支部デザインキャンプ

【概要】 北海道の自然を体感しながら、時間を気にせず一晩デザインについて語り合う。

【日程】 8 月 25 日(土) ～ 26 日(日) 1 泊 2 日 【参加人数】 25 名

【会場】 道民の森 神居尻地区 セミナー会場：森林学習センター コテージ：やすらぎ棟

【ゲスト】 形見 一郎 氏

【成果】 夜でも暖かく、皆さん遅くまで盛り上がりました。道外のゲストに来ていただく事で、新しい刺激をもらいモチベーション UP につながりました。

SAPPORO DESIGN WEEK 2012 への参加

【共通日程】 10 月 24～28 日

【メイン会場】 札幌駅前地下歩行空間

・JCD, DSA, SDA 3 団体合同パネル展

【概要】 優れた空間デザインを 3 団体が各自のコンペティションで選び、全国を巡回させるパネル展。各団体の世界観を体感することができます。

【会場】 北 4 条イベントスペース

・ DESIEN SWEET 2012

【概要】 今年で 4 年目となるカフェ×クリエイターのコラボレーション企画。期間中、市内カフェやレストランにてデザインスイーツの販売を行う。今年はホクレンの甜菜糖とコラボしました。

【会場】 市内各カフェ、インフォメーションブース→北 3 条イベントスペース

【参加カフェ×デザイナー】

長谷川×椿サロン／平尾×森の間 CAFÉ／妻倉×COWKEY'S COOKIES／

高橋×snow rainbow／澤田×アレーズカフェ／中屋×ルシエル／宮岡×JETSET

クリスマスデザインパーティー

【概要】 北海道インテリアプランナー協会との共催イベント、ドレスアップして行う冬の恒例行事が復活しました。

【日程】 12 月 13 日(木) 20:00

【参加人数】 約 100 名

【会場】 果実倶楽部 818 札幌市中央区南 3 条西 2 丁目 KT3 条ビル

【成果】Facebook を活用し、様々な業種の方に参加頂く事ができ、デザイナー以外とのつながりも広がりました。

SODA 桑園小学校

【概要】デザインを通しての社会活動。お店づくりをテーマに自由にデザイン作業に取り組む。専門家が講評・評価し、子供たちに新たな発見や発想の機会を見出させる。

【日程】①1月25日(金)3コマ ②2月8日(金)4コマ ③2月15日(金)4コマ

【会場】桑園小学校 札幌市中央区北8条西17丁目 【対象】6年生128名(20チーム)

【講師】正会員7名、賛助会員1名、ボランティア4名、その他素材ご提供企業多数

【成果】デザイン・仕事の楽しさを伝え、同時に必要性を感じてもらうことができました。今年は生徒達にも採点させることで、きちんと作品を見る目を養うことにもつながりました。

新年会&鍋塾

【概要】正会員・賛助会員の皆さまの親睦をはかるとともに、この一年の活動の予定や抱負を語り合う。会員と賛助会員との交流会及び、年度末の活動報告等

【日程】3月13日(水)19:00~21:00

【会場】eight Ricefield cafe 北口店

【成果】新規会員予備軍も参加し、有意義に盛り上がりました。オークションの売上により黒字化することができました。

東北支部（支部長：阿部秀夫）

平成24年度においても、H23/03/11の東日本大震災の影響により、東北支部会員においては、震災復旧工事に多くの時間を必要とし、特に福島地区においては、深刻な原発問題が現在も進行中であり、協会活動を積極的に遂行する環境にありませんでした。

H24/06/15：東北支部幹部会議

- ・平成24年度本部総会報告
- ・平成24年度支部総会につて協議

H24/07/04：岩手地区懇親会

- ・岩手地区メンバーと交流
- ・平成24年度支部総会について協議

H24/07/26：平成24年度東北支部総会

- ・岩手つなぎ温泉にて開催
- ・杉本会員とのディスカッション

H24/07/27：平成24年度東北支部総会

- ・会員交流コンペ開催

関東支部（支部長：小田秀樹）

*新体制の組織運営とイベント参加会員の増強

今期は支部長活動の初年度と、JCDの一般法人への移行が重なり、支部活動資金が後半逼迫してしまい委員会活動に制限を設けさせていただき、各委員長には大変ご協力をいただいた。その為、少ない活動資金を生かす方法を、皆で学んだ様だ。又、後期の広報誌の発行を印刷物ではなく、メールでの配信を試みた。賛否両論有る様だが、それら全てが、次年度の活動方法へのヒントになった様である。

(1) 特別委員会：東野委員長

5月の総会（東京・銀座）と11月の1泊研修旅行は支部賛助会員のカリモク家具株式会社の工場と伊勢神宮外宮せんぐう館（岩佐達雄会員設計）の見学を行なった。12月には4団体贈賞式（東京・六本木）のバックアップを行なった。

(2) 交流委員会：筈川委員長

支部会員と賛助会員の懇親を深める事と会員獲得も含めた新企画のイベント開催を行なった。

- ・8月（六本木）で参加者93名と賛助会員7社の出展を伴うパーティーを開催
- ・12月（溜池）で参加者83名と賛助会員4社の出展を伴うパーティーを開催

(3) 研究セミナー委員会：高村委員長

前年度迄は月1回を目指し、月例会の形で開催していたが、他のイベント・セミナーテーマコメンテーターの調整が難しい事が有り、月1回のペースで開催出来ず、逆に月2回の開催を行う等、必ずしも「月例会」となっていないので、「トクトーク」と称し、月1回ではないペースの開催で新たなスタートで行なった。

- ・日吉屋「和傘による空間構成」セミナー、窪田茂会員が設計した「メルセデスベンツ コネクション」でセミナーと交流会を行ない、本部事務所から現場を変えてライブ感あふれる会を開催
- ・エマニエルムホーさんの展示イベントに合わせて展示会場で開催を行なう。
- ・中村茂雄会員の名古屋、ロシア、湘南と移り住みながらデザインを行なうライフスタイルの紹介
- ・マックスレイのLED商品紹介説明会等を開催

SNS等による呼び込みにより、一般の方、学生の参加も徐々に行なうが参加者が増えている傾向では無かった。広報委員会と連携して、機関誌面に内容を掲載し、不参加会員の方にも情報を発信した。

(4) メディア委員会：吉田委員長

- ・関東支部のHPの更新とメルマガの配信を行い、会員のHPと関東支部のリンクを行なう。
- ・支部の行事を速やかに配信し、会員へ支部行事の速やかな告示で情報を発信した。

(5) 支部賛助委員会：品川委員長

- ・月1回の定例委員会を開催し、正会員と賛助会員相互の向上の為の意見交換を行なった。
- ・関東支部賛助委員会は関東支部賛助会員及び関東地区に在籍する全国賛助会員双方で活動する委員会であるべきとの趣旨により、10月19日に両者の交流を図るため合同懇親会を開催した。
- ・11月9日～10日に支部賛助会員のカリモク株式会社の協力を得て関東支部、秋の研修旅行「カリモク工場及び伊勢外宮せんぐう館」を企画開催した。
- ・広報委員会と連携して、機関誌に支部賛助会員企業の紹介記事を継続掲載した。

(6) 広報委員会：古川委員長

- ・機関誌net workの2回発行を行なう。今回はメール配信(PDF)1回を試みた。
- ・支部の行事の連動性を良くする為に、発行時期の調整を行なった。

(7) 省エネCO2削減委員会：芝田委員長

2009年度から計4回開催された省エネセミナーの月例会の開催であるが第5回目の企画開催を計画中であったが、委員長の病氣療養中の為、今期の開催は延期とした。

中部支部（支部長：平井 充）

2012年

4月

○「JCD中部支部役員会」

-4月26日（木）/ナディアパーク 7F 第10号会議室

5月

○「JCD中部支部会議」

-5月14日（月）/ナディアパーク 7F 第10号会議室

6月

●『中部支部総会』（支部総会&基調講演）

- 6月28日(木) ナディアパーク 6F セミナールーム/8F レストラン宙
・加藤和雄氏の工学博士号取得の論文『インテリア・シェルターの離隔性の分析に基づく
倉俣 史朗のインテリアデザインにおける空間構成』の基調講演を開催

7月

○「JCD 中部支部賛助委員会」

- 7月23日(月) ナディアーク 3F ラカーサ

9月

○「JCD 中部支部賛助委員会」

- 9月21日(金) ナディアーク 7F 第10号会議室

11月

●『メッセナゴヤ 2010 名古屋商工会議所+中部デザイン団体協議会

デザインなんでも無料相談“それはデザイナーに聞け!”』(無料相談会)

- 11月7日(水)~10日(日)/名古屋港金城埠頭ポートメッセなごや

・中部15のデザイン団体によるデザイン団体協議会と名古屋商工会議所協同で各デザイン
ジャンルでの無料相談コーナー実施。JCD 中部支部で企画プロデュース

●『日本色彩学会 暮らしの色彩研究会(LC)+JCD 中部支部合同懇親会』(懇親会)

- 11月9日(金)/ナディアパーク 3F ラカーサ

・JCD 顧問の林英光氏が副会長を務める日本色彩学会の東海支部の暮らしの色彩研究会
(カラーリスト集団)との文化的、実業的合コンを開催

●『国際デザインセンター設立20周年事業』

中部デザイン団体協議会が企画、プロデュース。15団体からそれぞれの事業に委員参加

■レセプション(交流パーティ) JCD 委員: 種田正人

- 11月14日(水)/ナディアパーク 3F デザインホール

・中部デザイン団体協議会で企画プロデュース。JCD から委員参加。350名の文化人集
合

■プロフェッショナル展(エキシビション) JCD 委員: 鳥居佳則

- 11月14日(水)~19日(日)/ナディアパーク 4F デザインギャラリー

・過去8年間のCCDO(中部デザイン団体協議会)アワード受賞者作品を一堂に展示。JCD
からは神谷利徳、鳥居佳則、加藤吉宏、西川せいじ、深江章一氏5名が出品

■なごや・キッズ・デザイン展(エキシビション) JCD 委員: 西川せいじ

- 11月21日(水)~26日(月)/ナディアパーク 4F デザインギャラリー

・キッズをテーマとした中部エリアの空間、プロダクト、グラフィック、ジュエリーな
ど広範囲な作品を展示。JCD からは正会員の横井祐一氏、賛助会員のタジマさんの作
品を出品

■学生の仕事展(エキシビション) JCD 委員: 伊藤孝紀

- 11月28日(水)~3日(月)/ナディアパーク 4F デザインギャラリー

・産官学をテーマとして学生の実際に構築できた作品、事業を一堂に展示。JCD からは名
工大・伊藤孝紀氏(准教授)研究室活動を出展

12月

■企業とデザイナーのパートナーシップ展(エキシビション) JCD チーフ: 平井 充

- 11月14日(水)~19日(日)/ナディアパーク 4F デザインギャラリー

・企業とデザイナーの良好な関係から生まれた作品をデザイナーが推薦して展示。観覧
者も企業関係者にシフト。JCD からは、鶴飼昭年、鳥居佳則、丹羽浩之、渡辺博己、
西川せいじ、大藪由紀夫、また JCD 推薦として3名の合計9名の出品

2010/2月

●『DESIGN FORUM2013(デザインで、出来ること。)]』

- 2月16日(土)~21日(木)/エキシビション/富山大学芸術文化部(高岡キャンパス)1F

-2月16日(土)/シンポジウム/富山大学芸術文化部(高岡キャンパス)講堂

・シンポジウムは3団体の大賞受賞者。ハナムラチカヒロ(DSA 大賞)、前田豊(SDA 大
賞)、宇賀亮介(JCD アワード大賞)。今回は北陸地区の木村嘉秀会員が主導して実施出

来ました。

●『デザイントリプレックス9』

-2月6日(水)～11日(月)/エキシビション『日本の空間デザイン賞』

/ナディアパーク 4F デザインギャラリー

-2月8日(金)/シンポジウム『場は、だれが創る』

/ナディアパーク 6F セミナールーム3

- ・より一般の方、中部の学生等がデザインの実践を分かり易くするために、今回は、アワード受賞者は招かず、中部にある国際デザインセンターの「LOOP」という創業者支援ショップの空間デザイナー(DSA)、グラフィックデザイナー、出展者のプロダクトデザイナーをパネリストに迎え、当エリアで人気があるZIP FMのミュージックナビゲーターの磯谷祐介氏をコーディネイターとして展開。また、「LOOP」はセミナー会場の2層下にあるという趣向

関西支部(支部長:長町志穂)

■24年度の取組みにあたって

- ・既存の委員会を「目的別の小組織」に変更し、全員参加を目指す体制を目指した。
- ・イベントをシンプル化し、年間活動目標をわかりやすくできないかと模索。
- ・懇親会や企業紹介の回数を減らしその分内容の充実を図ろうと計画した。

■活動実績

1. デザイナーズアクセス2012の実施/橋本健二委員長、白井副理事長 担当

2012年11月16日名村造船所跡地Studio PARTITAにて実施参加者人数:240人

協賛企業24社(内賛助企業19社)

内容)・協賛企業展示プレゼンテーション

- ・トークイベント

ゲストスピーカー:アサダワタル、BMC、中川和彦

コーディネーター:長町志穂(JCD関西)

- ・若手デザイナー表彰

- ・クリエイターズLIVE

(JCD関西橋本健二、間宮吉彦、中村裕輔各氏のバンド演奏)

支部年間活動の中での最重要イベントと位置付け、多数の企業協賛を受け実施。今までにない展示デザインと観客と一体となったトーク形式に挑戦した。告知の不備と開催場所の不便もあり、動員人数は目標に到達しなかったが、会員外への「見える活動」である核イベントとして実施実現に至ったことは良かった。正会員の参加が少なかったことが大きな反省点として残った。

2. 関西学生シンポジウム2012の実施(他団体共催イベント)/長町支部長 担当

2012年10月12日大光電機・ライティングコア大阪にて実施参加者人数:50人程度

JID、JCD、JIDAの共催イベント

内容)・「超」をテーマに3校の学生がプレゼンテーション

JCDからは「関西大学環境都市工学部建築学科」が参加

- ・JCDコメンターは東潤一郎氏(サロン実行委員長)

実施時期が早く、対応に苦慮した。3団体の共催イベントとしては参加人数が少なく、次年度はさらに工夫が必要

3. SODA事業『子供たちと創るあかりのある空間』ワークショップ/中村裕輔委員長 担当

2012年12月22日大阪市住まい情報センターにて実施参加者人数:59名(うち31名が子供)

大阪市とのタイアップ事業

内容)・協賛各社から提供された材料を利用し、JCDメンバーの指導による商店街店舗の模

型作り。(メンバー9名によって準備及び指導)

- ・あかりセミナーの実施(担当:蒲(JCD関西))

公共機関とのタイアップ事業として、多数の参加者と充実したワークショップが実施できた。JCDメンバーのスキルが活かされた社会貢献度の高いイベントであるので今後も精力的に続けていきたい。

4. 日本の空間デザイン展&ギャラリートーク2012の実施(本部事業)

／山田評議員、長町支部長 担当

2012年12月21, 22日大阪府立江之子島文化芸術創造センターにて実施

DSA, JCD, JID, SDAO との共催および同センターとの共催企画

トーク参加者人数: 100人弱

内容) ・各団体受賞案件のパネル展示

- ・トークイベント

ゲストスピーカー: ハナムラチカヒロ

対談: 飯島直樹理事長×ハナムラチカヒロ氏

- ・懇親会(SODAメンバー合流)

ゲストスピーカーの動員力があり、多くの来場者のあるトークが実現できた。開催日数を2日間としたが、アクセスのしやすい市内の美術館を使うことができ、比較的多くの見学者が見込めたことは良かった。

5. Facebook による情報発信/大東委員長、長町支部長 担当

内容) ・JCD関西のイベント情報をオンタイムに発信する仕組みとしてサイトの立上げを行った。

デザイナーズアクセス時には、最大リーチ数374人という団体の認知度をあげる役目は果たしたが、その後は情報アップが滞り現在の平均リーチは28人。情報管理者を増やし活性化する方法を次年度は模索したい。現在のサイトへの「いいね」は155人。

6. 「JCD関西アーカイブス」HPリニューアル/岡島委員長、白井副理事 担当

内容) ・過去紙媒体で発刊されてきた「JCD関西」誌のデジタル化。1984年第1号~2011年66号までのすべてをPDFで閲覧できる。

- ・更新の滞っていたHPをリニューアルし、HPの役割の整理と情報発信の二系列化に挑戦した。

膨大な量の過去の支部活動を顕在化させ、誰もがいつでも閲覧できる状態に実現できた岡島委員長の功績は大きい。オンタイムの軽い情報はFacebook、重要な支部情報や活動履歴などはHPという役割分担への第一歩が踏み出した。来期は会員情報の充実などをはかしていきたい。

7. 「大阪デザインサロン」「絵馬展」など

／白井副理事長 担当、衣笠副支部長、金沢前副支部長

山田評議員が会長を務める大阪デザイン団体連合(USD-O)の主催する「デザインサロン」への協力および有志参画。デザイン3団体による「絵馬展」への有志参加など

■活動をふりかえって

活動組織について

活動形式を委員会制から目的別のチーム編成に変更しようと試みたが、本部事業や他団体共催事業等への会員の組織化が図れておらず問題があったので次年度は改善したい。

また、懇親を目的とする交流委員会を廃止したことで、交流イベントの実施が滞ったのが反省点である。また、定期の小セミナー(サロン)を企画していたが上記の理由から実現に至らなかった。

次年度は、目的別委員会を精査し直し確実に定期的なミーティングが行えるように整えた

い。

情報発信について

最も重要と考える「JCD活動の見える化」の第一歩であるFacebookとHPリニューアルが実現し、いよいよ次年度は本格的な運用と内容の充実をはかりたい。

中国支部（支部長：深田勝哉）

- | | | | | |
|-------|-----|--|------------|--------|
| 4月19日 | 第5回 | 広島デザインウィーク準備委員会 | 広島市民交流センター | 会議室 |
| 29日 | 第一回 | JCD中国支部総会 | ふくやま市民交流館 | 会議室 |
| 5月31日 | 第5回 | 広島デザインウィーク準備委員会 | 広島市民交流センター | 会議室 |
| 6月24日 | 第6回 | 広島デザインウィーク準備委員会 | 広島市民交流センター | 会議室 |
| 7月27日 | 第二回 | JCD中国支部例会 | 広島アステールプラザ | |
| | 第7回 | 広島デザインデイズ準備委員会 | 広島アステールプラザ | |
| 8月3日 | | 広島デザインデイズ会場設営 | 広島アステールプラザ | |
| 4日 | | 広島デザインデイズ開催（会員によるトークショー） | 広島アステールプラザ | |
| 5日 | | 広島デザインデイズ開催 | 広島アステールプラザ | |
| 9月21日 | 第三回 | JCD中国支部例会 | 岡山市民会館 | 会議室 |
| | | 広島デザインデイズ反省会 | | |
| 11月1日 | | 中国支部運営会議 | 支部事務局 | |
| 12月7日 | 第四回 | JCD中国支部例会 | ふくやま市民交流館 | 会議室 |
| | | 支部忘年会、場所は福山の夢心 | | |
| 1月25日 | | 広島デザインデイズ準備委員会 | スタジオコア広島 | ショールーム |
| 2月22日 | | 広島デザインウィーク準備委員会 | スタジオコア広島 | ショールーム |
| 25日 | 第五回 | JCD中国支部例会 | スタジオコア広島 | ショールーム |
| 3月15日 | | 中国支部8名、四国支部6名、総勢14名での合同研修「上海最新デザインを巡る旅」。上海市を中心に新しい話題のエリアで、建築・インテリアを見学。
中国上海市 2泊3日 | | |
| 29日 | | 広島デザインデイズ準備委員会 | スタジオコア広島 | ショールーム |

四国支部（支部長：香川眞二）

- | | | | | | |
|-----|---------|-----------------------------------|----------------|---------------------------|--------|
| 4月 | 例会 | 4月14日 | 花見 | 女木島ビーチアパート | 会員レポート |
| 5月 | 委員長会 | | | | |
| 6月 | 例会 | 6月22日 | 大渚亭屋島本店 | | |
| 7月 | 委員長会 | 7月19日 | 高松国際ホテル1F | ぐるり屋島 | |
| 8月 | 例会 | 8月31日 | サローネリポートDVD観賞 | 女木島ビーチアパート | 会員レポート |
| 9月 | 委員長会 | 9月19日 | 汐さぎ！庵 | | 会員レポート |
| 10月 | 例会 | 10月6日 | 大島 | 愛媛県会員と香川県会員の交流
美術館等めぐり | 会員レポート |
| 11月 | 委員長会 | 11月8日 | パールガーデン1F | レストラン | 会員レポート |
| 12月 | 例会(忘年会) | 12月26日 | 虎徹 | | 会員レポート |
| 1月 | 委員長会 | 1月31日 | パールガーデン1F | レストラン | 会員レポート |
| 2月 | 例会 | 2月26日 | ジャングルオイスターガーデン | | 会員レポート |
| 3月 | 委員長会 | 上海最新デザインツアー（中国支部と合同）
3月15日～17日 | | | 会員レポート |
- 関連団体との交流 瀬戸内国際芸術祭2013 参加協力 3月20日から
- ・現会員のレベルアップ及び新規会員の増員
 - ・瀬戸内国債芸術祭2013 参画協力
 - ・ホームページの有効活用、facebook との併用
 - ・SODA 活動

九州支部（支部長：金子洋伸）

- 5月18日 九州支部総会
- 5月21日 FUKUOKA デザインリーグ理事会、総会
- 6月12日 FDL 運営会議
- 6月14日 「日本建築装飾史研究セミナー」開催
講師：窪寺 茂 氏
- 7月10日 デザインスクールキャラバン準備会議&FDL 運営委員会
- 7月20日 支部月例会
- 8月10日 支部月例会
- 8月17日 デザインスクールキャラバン準備会議
- 8月24日 南当仁小学校事前打合せ
- 9月7日 支部月例会
- 9月21日 南当仁小学校にてデザインスクールキャラバン
終了後、作品を福岡市役所まで移動
- 10月23日 FDL 運営会議
- 11月5日～9日 JCD デザインアワード2012展（SDA と合同）
- 11月16日 支部月例会
- 11月22日 一般社団法人 FUDA「福岡デザインアクション」設立記念パーティ参加
- 12月10日 福岡デザイン界大望年会
- 12月20日 九州支部月例会&忘年会（八千代丸）
- 1月25日 月例会&新年会（賛助会員参加）
- 2月15日・3月15日 月例会

6月に「日本建築装飾史研究セミナー」を開催。講師は建築装飾技術史研究所所長の窪寺茂氏。テーマは「建築装飾と人との親和性—近代建築思潮の彼方、そしてこれから」で、参加費は無料。参加者は80名を超え、講演の後のドリンクパーティも盛会でした。

また、今年のデザインスクールキャラバンは9月に開催される「第4回国際ユニバーサルデザイン会議」に合わせ、テーマを「みんなにやさしい、みんながやさしい街をつくろう」とし、福岡市天神地区の模型をつくり、提案しました。

終了後は福岡市役所で作品を展示するため大急ぎで移動。国際ユニバーサルデザイン会議が終了する9月15日まで展示されました。

また、来年度のJCD全国総会に向けて準備の為毎月定例会を開催しました。

沖縄支部（支部長：平良玄峰）

6月にSODAのワークショップを今帰仁村の兼次小学校で行い、SODAを未経験の会員を主体に取り組み、JCD及びSODAの活動を地元新聞等の取材掲載させて頂きました。

3. その他の会務に関する事項

(1) 会務などの状況

総会（1回）

第52回通常総会

期日：平成24年5月26日 会場：音楽ビヤプラザ ライオン

社員出席：241（内委任状187）名

理事会（5回）

第1回臨時理事会 期日：平成24年4月7日 会場：JCD事務局 出席理事：23名

第1回通常理事会 期日：平成24年5月26日 会場：音楽ビヤプラザ ライオン

出席理事：21名

第2回臨時理事会 期日：平成24年5月26日 会場：音楽ビヤプラザ ライオン

出席理事：21名

第3回臨時理事会 期日：平成24年6月29日 会場：JCD事務局 出席理事：24名
第2回通常理事会 期日：平成24年12月1日 会場：JCD事務局 出席理事：23名

(2) 関係団体や機関との交流、事業への協賛など

空間デザイン機構（（社）日本サインデザイン協会、（社）日本ディスプレイデザイン協会、（社）日本ディスプレイ業団体連合会と共同）において、4委員会活動に担当を派遣し企画、JAPAN SHOP 2013に参加した。

特定非営利活動法人ユニバーサルイベント協会「第8回 ユニバーサルキャンプ in 八丈島」、日本インテリアプランナー協会「IPEC2012」、日本経済新聞社「JAPAN SHOP2013」「建築建材展2013」「ライティングフェア2013」、商施連「第10回 主張する「みせ」学生デザインコンペ」、日本能率協会「第41回国際ホテル・レストラン・ショー」、京都デザイン専門学校「Kyoto Art & Design Works+ 京芸デ卒業制作展2012」、BC ウッド「ウエスタン・レッドシダーのエキスパートになる！デザイン、設計、施工のすべて」等への協賛・協力を行った。

4. 会員の移動状況

	23年度期末	年度内増	年度内減	24年度期末
正会員	471名	15名	45名	441名
賛助会員	129社	8社	13社	124社

5. 正会員の資格喪失に関する事項

定款第8条（資格の喪失）による、本年度の正会員資格喪失者は次の45名である。

・退会申し出による者 38名

（北海道支部） 桑原 崇、伊達寿彦

（東北支部） 石田俊幸、佐藤信博

（関東支部） 五十嵐豊、榎本文夫、橘川光信、功刀くみこ、白須真也子、白鳥健二、杉本貴志、先崎綾華、武石 馨、玉井美歌男、富田和彦、野村 敦、花里聡明、藤田義博、増田幸介、山本裕雅、渡邊久高

（中部支部） 木島森夫、廣田慎一

（関西支部） エレナ・ガッリ・ジャッリーニ、児玉和之、清水 勝、中尾晋也、羽原清明、南原利廣、山口雅史、渡邊 彰

（中国支部） 木地保隆、中部 薫

（四国支部） 藤原祐司

（九州支部） 斧山 満、小島啓嵩、竹田勝則、徳留明彦

・死亡による者 3名

（関東支部） 小谷 実、田中孝明

（関西支部） 三嶽徳積

・会費未納による者 4名

（北海道支部） 高橋貴子

（関東支部） 伊藤嘉康、堀井 学

（関西支部） 畑中敏行

6. 役員の移動報告

(1) 評議員の移動報告

新任 金沢明彦

退任 石田和代、小谷 実、武石 馨